

平成 28 年度第 5 回岩手県地方独立行政法人評価委員会 結果概要

I. 日時 平成 29 年 3 月 9 日（木）10：00～10：30

II. 場所 盛岡地区合同庁舎 8 階 講堂 C

III. 参集者

- 1 岩手県地方独立行政法人評価委員会
西崎滋委員長、室井麗子委員、下田栄行委員、恒川かおり委員、工藤昌代委員、関内隆専門委員
- 2 岩手県立大学
石堂淳企画本部長ほか県立大学事務局職員
- 3 事務局（県総務部総務室）
総務部 大槻理事兼総務部長兼総務室長ほか総務室職員

IV. 会議要旨

【西崎委員長】 今日には議題が 2 つございまして、1 つは 2 月 7 日の意見交換会を経てまとめられました県立大学の第三期の計画目標ですね、それを審議することになっております。また、その後では第二期の最終評価についての評価の方法等の審議に入りますので、忌憚のご意見をよろしく願いいたします。

それでは、以後の進行を務めさせていただきます。

まず、本日の会議の公開の取り扱いについてお諮りします。審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、本日の会議の内容は公開で進めさせていただくことをご提案したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【一同】 （異議なし）

【西崎委員長】 では、公開として進めさせていただきます。

議題 1 公立大学法人岩手県立大学の第三期中期計画（案）について

【西崎委員長】 まず、事務局から説明をいただいて、その後意見交換をしていきたいと思えます。それでは説明をお願いします。

【事務局】 （資料により説明）

【西崎委員長】 それでは、意見交換会からの修正点が 2 点、それから追加が 1 点ですけれども、その件につきまして何かご質問等ございましたら、委員の皆さんからお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

私のほうから 1 点、科研費等の競争的資金の採択件数というのを新たに数値目標として掲げていますけれども、これ根拠というのは平成 27 年度ベースでということでしたけれども、平成 27 年度ベースでは、例えばそういういろんな資金を何件ぐらい採択されていきましたか、お願いします。

【県立大学事務局】 競争的資金と科研費と、あと科研費以外とあるわけでございますけれども、合わせて80件でございます。

【西崎委員長】 そうすると、ここに掲げられている数値はそれぞれ中間段階での、その前の1年間での採択件数が122を目標とするという、そういうことなのですね。

【森室長】 はい、さようでございます。申請件数自体をふやそうという趣旨でございます。

【西崎委員長】 大きな目標ですね。中間以降の2年では15の増ですね。我々も数値がひとり歩きしないように注意はしますが、それと1人当たりの学術成果の発表で、分野によっていろいろ発表が違ふということでしたけれども、中間段階の目標はもともと4件という目標でしたよね。それを一応もう少し根拠を調べてみると4.3件であったということですね。

それでは、中期計画、それから数値目標のあたり全般につきまして何かご意見等ございましたら委員の皆さんからお願いします。

【関内委員】 20番の研究成果のところ、私が前回発言した項目だと思うのですが、ちょっと細かすぎるのではないかなという感じがしましたけれども、こんな感じでよろしいのでしょうか。

あと1人当たりというのがなくなっており、もし何か全体の趣旨みたいなのがあったらちょっとご説明いただくとありがたいのですが。

【森室長】 この小数点以下の数字でございますけれども、教員数はどうしても年度ごとに動くものでございますので、全体的指標ということで1人当たりということで割り返したのが指標としてはいいものかなという判断で、計算させていただいたところでございます。

【関内委員】 先ほどの説明ですと現状よりも15%増ぐらいの数値ということですね。

【森室長】 今のところ、現状値が論文が平均で2.0、そのほかに学会発表も2.0という数値でございます。

【関内委員】 全部合わせるとそうなる。

【森室長】 ええ、合わせて4.0という形で、それぞれ15%ということでございます。

【関内委員】 あとちょっと今気がついたのですが、20番の項目が共同研究というのにかなりウエートを置いていますね。当然ですが、ここで言う研究成果というのは共同研究だけを拾うのではなくて、個別の研究もちろん入れ込んでということでもよろしいのですよね。

【森室長】 はい。

【関内委員】 わかりました。

【石堂副学長】 今ご質問あった点で、1人当たりという部分も検討させていただきまして、やはり1人当たりとしてしまうとどうしても前回先生からご指摘いただいたように分野によってかなり、年間何本も書けるところとなかなか書けないところがあるので、1人当たりにしてしまいますとどうしても個々の通年当たりの縛りがあるということもありますので、こういった表現にさせていただいたところです。

【関内委員】 はい、いいと思います。

【西崎委員長】 それでは、ご意見ないようですので、そろそろお諮りしたいと思います。

議題1の公立大学法人岩手県立大学の第三期中期計画(案)につきまして、事務局案のとおりとすることとし、評価委員会としては意見なしということでもよろしいでしょうか。

【一同】（異議なし）

【西崎委員長】では、そう結論させていただきます。

この第1の議題は事務局案のとおり決定するというところでございます。

議題2 公立大学法人岩手県立大学の中期目標期間終了時の評価について

【西崎委員長】それでは、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（資料により説明）

【西崎委員長】それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、皆様からご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

【関内委員】今回の修正の点なのですけれども、これまでとは違う、Aの意味とかBの意味というのが出てくるというようなことで理解してよろしいのですよね。

【事務局】そうです。

【関内委員】質問は、第一期の中期目標期間の終了のときの評価というのはどんなふうな感じだったのかちょっと教えていただきたいのですけれども。

【事務局】意見交換会でお示ししたものは、暫定評価をベースでちょっと考えたものですから、やや混乱をされてしまったのですが、今回の案が第一期も使われたものです。

【関内委員】わかりました。

【西崎委員長】ご質問ございませんでしょうか。

今期はEというようなのはなかったですね。

【事務局】そうです。

【西崎委員長】あとこの第二期中期計画期間の最終評価と、それから28年度の評価はほとんど並行して同時にやることになるのですよね。

【事務局】はい、ヒアリングと評価委員会もその2つのテーマでその期間終了後の評価と、それから年度評価と一緒に2項目ずつやりたいと考えております。

【西崎委員長】その他何かありますでしょうか。

「なし」の声

【西崎委員長】それでは、これで第2の議題の公立大学法人岩手県立大学の中期目標期間終了時の評価につきまして、事務局案のとおりとするということで、評価委員会としてはご意見なしということでよろしいですか。

【一同】（異議なし）

【西崎委員長】それでは、事務局案のとおり決定させていただきます。

その他

【西崎委員長】それでは、事務局のほうから何かございますか。

【事務局】特にございません。

【西崎委員長】では、以上をもちまして議題を終了させていただきます。ご協力どうもありがとうございました。